

# 令和3年度 主な新規・拡充事業

令和3年2月16日

羽 島 市

# 目次

## 主要施策のSDGsのゴール

### I 市政重要課題への対応

- ◆ 新庁舎建設 → 新庁舎竣工に向けた整備
- ◆ 市民の利便性向上 → 総合窓口等の設置・総合窓口システムの導入



### II 子育て・学び～次代を育むまち～

- ◆ 安心して学べる教育環境の整備 → 学級増による福寿小学校の増築



### III 市民生活・環境～安全・安心、環境にやさしいまち～

- ◆ ごみの減量化 → 家庭系ごみの有料化と負担軽減



### IV 健康福祉・医療～共に支え健やかに暮らすまち～

- ◆ 全世代共生の健康づくり → 早期口腔機能評価、産婦健康診査



### V 行政DX・働き方改革に向けたステップ

- ◆ 行政サービスのデジタル化 → AIチャットボット、電子申請の導入
- ◆ 業務効率化・省力化 → 業務プロセス見直しを通じた働き方改革



### VI 計画の推進方策

- ◆ 市公式LINEの機能拡充 → 文化センター施設予約のオンライン化



## ◆ 新庁舎建設（新庁舎竣工に向けた整備）

### 事業概要

現本庁舎の耐震性能不足、分散庁舎、ユニバーサルデザインの未対応などの課題解消に向けて事業を進捗させ、新庁舎に求められる機能を充足しつつ、速やかに市役所機能を移転。

### これまでの取組・現状

- R1.7月策定の実施設計に基づき、同年10月に新庁舎建設工事の請負契約を締結後、工事着手。
- R2.12月に新庁舎附属棟建設・外構Ⅰ期工事の請負契約を締結後、工事着手。

### 事業イメージ・スキーム等

- **安全・安心な庁舎**  
・耐震性確保、浸水対策、情報・防災庁舎との連携、セキュリティ向上。
- **利用しやすい庁舎**  
・ユニバーサルデザイン(エレベーター2基配置、多目的トイレにオストメイト設置、授乳室にベビーシート設置、サインの多言語表記など)、プライバシー配慮(相談室設置、仕切りのある窓口)。
- **まちづくりに貢献する、環境にやさしい庁舎**  
・省エネ・省資源(井水利用空調システムの導入)。
- **効率的・機能的な庁舎**  
・窓口の利便性(利用の多い窓口の集約配置、総合窓口設置)。

### 【主な財源】

- 庁舎建設基金 723,921千円
- 公共施設等適正管理推進事業債(市町村役場機能緊急保全事業)  
＜充当率90%、交付税措置率22.5%＞

【イメージ図】



### 今後の目標・成果イメージ

- R3.7月竣工を目指し、新庁舎建設工事を進捗。同年11月の開庁を目標に移転業務を進め、R4.3月末には外構整備を完了予定。
- R3.11月の新庁舎開庁にあわせ、新規什器類を購入・配置。

### 今後の実施スケジュール(予定)

- R3.7月 新庁舎建設工事 完成
- 9月 新庁舎附属棟建設・外構Ⅰ期工事 完成
- 11月 新庁舎開庁
- R4.3月 新庁舎外構Ⅱ期工事 完成

工 程	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月
新 庁 舎 建 設 工 事		R1.10 ~ R3.7				
附属棟建設・外構Ⅰ期工事				R2.12 ~ R3.9		
外 構 Ⅱ 期 工 事					R3.11 ~ R4.3	
移 転 業 務		移転管理	R2.5 ~ R4.3		什器等移転	R3.3~11

### 予算(案) 主な内訳

- 工事監理業務委託、移転管理等業務委託 等 58,653千円
- 新庁舎建設工事費 2,038,933千円
- 附属棟建設・外構Ⅰ期工事費 115,258千円
- 外構Ⅱ期工事費 55,000千円
- 新規什器等購入費 185,091千円

## ◆ 市民の利便性向上(総合窓口等の設置・総合窓口システムの導入)

### 事業概要

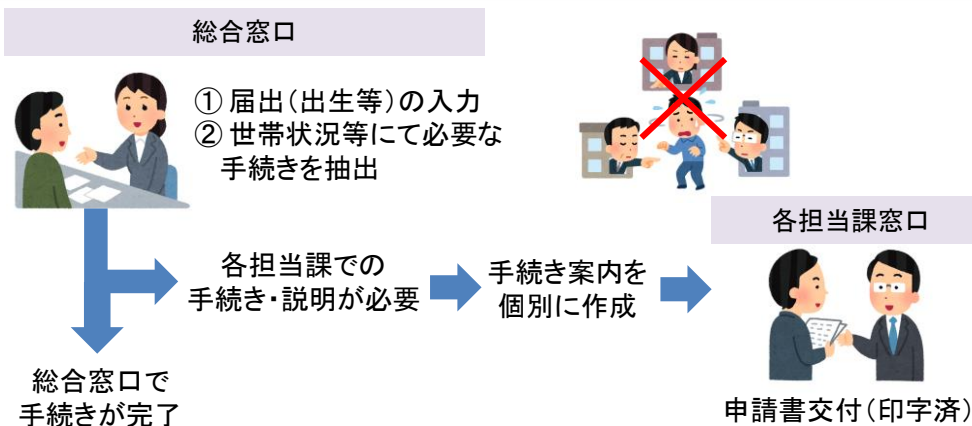
新庁舎の供用開始に合わせ、課をまたいでいるライフイベント(出生、死亡等)関連手続きの一部を「総合窓口」及び「おくやみコーナー」で集約。さらに、他課で必要な手続き案内と申請書記入支援のため「総合窓口システム」を導入。

### これまでの取組・現状

- 従来は、市民が手続きごとに各窓口を移動。  
⇒「時間」がかかる
- 市民自らが必要な手続きを判断。各窓口では申請書の複数箇所へ氏名等を記入。  
⇒「手間」がかかる

### 事業イメージ・スキーム等

- **総合窓口等の設置**  
・ライフイベント手続き274件のうち、87件(約32%)の手続きを「総合窓口」及び「おくやみコーナー」にて一括処理。
- **総合窓口システムの導入**
  - ① システムにより申請者の世帯状況を一括把握。
  - ② 個々の状況に合わせた手続き案内を作成し、案内。
  - ③ 住所、氏名等の4情報を自動印字して各種申請書を印刷。



### 今後の目標・成果イメージ

- **総合窓口等の設置による一部業務の集約化**  
⇒市民の方が窓口を移動する手間・時間を削減
- **総合窓口システムの導入**
  - ・「迷わせない」(手続き案内の作成)
  - ・「書かせない」(各種申請書の印刷)⇒市民の方の手続き時間の短縮  
市職員の問い合わせ対応、申請書確認時間を短縮

### 今後の実施スケジュール(予定)

- R3. 4～ 5月 システム契約
- 6～10月 機器設置、職員への操作研修
- 11月 新庁舎の供用開始に合わせ、「総合窓口」設置、「総合窓口システム」導入

### 予算(案) 主な内訳

- 総合窓口システム導入委託 18,860千円

### 関連事業

- **市民課コンシェルジュの配置**  
・手続きに応じて、市民の方をスムーズにご案内

## 子育て・学び～次代を育むまち～

### ◆ 安心して学べる教育環境の整備(学級増による福寿小学校の増築)

#### 事業概要

子どもたちが「安全・安心」に学ぶことができる学校の環境づくりのため、児童数の増加が顕著な福寿小学校にGIGAスクール・空調設備を備えた校舎を増築し、教育施設の充実を図る。

#### これまでの取組・現状

- R2：実施設計の実施
- R3：建築工事の実施

#### 今後の目標・成果イメージ

- R3年度に工事・備品類の搬入を完了し、R4.4月から増築した校舎を使用開始予定。

#### 事業イメージ・スキーム等

- 所在地：福寿小学校体育館東側
- 構造：校舎棟  
鉄骨造 地上2階建 延床面積 644.92㎡  
渡り廊下棟  
鉄骨造 地上1階建 延床面積 46.44㎡

#### 主な整備内容(予定)

- 教室数  
普通教室 3室  
会議室等 2室
- スクリーン、大型提示装置  
など、GIGAスクールに対応  
した設備を整備

#### 【増築建物外観イメージ】



#### 【増築建物位置イメージ】

増築建物位置



#### 【財源】 有利な財政措置を最大限活用

- 公立学校施設整備費負担金(文部科学省) 64,265千円
- 学校教育施設等整備事業債 92,800千円  
＜充当率90%、交付税措置率50%＞
- 公共施設等適正管理推進事業債 1,200千円  
＜充当率90%、交付税措置率約30%＞

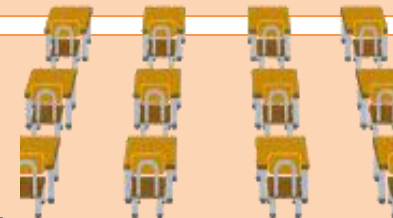
#### 今後の実施スケジュール(予定)

- R3.7月～ 工事契約、本工事着工
- R4.1月 工事完了  
2月～ 備品類の搬入  
4月～ 使用開始



#### 予算(案) 主な内訳

- 校舎増築工事 169,278千円
- 渡り廊下増築工事 4,428千円
- スロープ設置工事 1,381千円
- 増築棟周囲外構工事 8,168千円 他



# III 市民生活・環境～安全・安心、環境にやさしいまち～

## ◆ ごみの減量化(家庭系ごみの有料化と負担軽減)

### 事業概要

ごみの減量と資源化の推進、費用負担の公平性の確保及びごみ処理費用の削減を目的とし、R3.10月1日から「家庭系ごみ有料化」を実施。併せてごみ受入体制の拡充及び負担軽減策を実施。

### これまでの取組・現状

- 現在指定ごみ袋の販売価格には、「ごみ処理手数料」は含まれておらず、ごみ袋の価格のみ
- H29～R2 タウンミーティング・パブリックコメント等で意見聴取
- R2.9～12月 羽島市環境審議会から答申  
「羽島市家庭系ごみ有料化実施計画」を策定  
「家庭系ごみ有料化」に関する議案が可決

### 今後の目標・成果イメージ

- ごみの減量と資源化の推進  
(現状の家庭系ごみ排出量の1割程度の削減を目標)
- 負担の公平性の確保(ごみ排出量に応じて負担)
- ごみ処理費用の削減

### 事業イメージ・スキーム等

#### 【有料化の概要】

#### ○ ごみ処理手数料

可燃ごみ (指定ごみ袋)	不燃ごみ (指定ごみ袋)	粗大ごみ (粗大ごみ処理券)
・大45ℓ相当(1袋36円) ・中30ℓ相当(1袋24円) ・小15ℓ相当(1袋12円)	・大45ℓ相当(1袋180円) ・小20ℓ相当(1袋80円)	ごみの品目ごとに200円、400円、800円

#### 【有料化に伴う新たな施策(受入体制拡充・負担軽減策)】

- **有料化による財政的効果** 年間約1億1,000万円  
(手数料収入 約8,000万円、ごみ減量効果 約3,000万円)
- **ストックヤードの受入体制の拡充**  
・開館日を増やして不燃ごみの受入実施
- **緑ごみの受入体制の拡充**  
・平日午後も受入実施
- **負担軽減策等**  
・紙オムツを使用する乳幼児、高齢者世帯等へごみ袋無償配布



### 今後の実施スケジュール(予定)

- R3.4月～ 制度周知啓発のためのチラシの全戸配布  
小売店等への周知啓発・住民説明会の開催
- 9月～ 新しい指定ごみ袋の販売開始  
ごみの出し方ハンドブックの全戸配布
- 10月～ 家庭系ごみ有料化実施

### 予算(案) 主な内訳

- 歳出(有料化に伴う経費) 37,468千円
  - ① 粗大ごみ受入処分業務 12,461千円
  - ② スtockヤード改修工事 5,847千円
  - ③ 負担軽減策等 6,937千円
- 他
  - ・紙オムツを使用する乳幼児、高齢者世帯等へのごみ袋無償配布
  - ・高齢者の粗大ごみ出し支援(1/2を補助、上限2,000円)
  - ・集積所のごみネット購入を支援(1/2補助、上限3,000円)
  - ・地域清掃ごみの無償回収
  - ・ごみと資源に関するアプリケーションの導入
  - ・不法投棄対策の監視カメラ設置補助(1/3補助、上限10万円)

## ◆ 全世代共生の健康づくり(早期口腔機能評価、産婦健康診査)

## 事業概要

介護予防を目的として、65歳、70歳を対象とした口腔機能評価を、成人歯科健診のメニューに追加。また、子育て世代への支援として、産後うつや虐待等の予防を図る観点から、産婦健康診査を創設。

## これまでの取組・現状

- 後期高齢者(75歳以上)を対象に、口腔機能評価「はしま・さわやか口腔健診」を実施。
- 出産前には妊婦健診・妊婦歯科検診、出産後には3～4か月後に乳幼児健診を実施。

## 今後の目標・成果イメージ

- 元気はしま21(羽島市第2期健康増進計画)に基づき、全世代の健康づくりを目指す。
- 成人高齢者の健康づくり(健康寿命の延伸等)
- 母子の健康づくり(こころに余裕を持った子育て等)

## 事業イメージ・スキーム等

## 【概要】

## ○ 口腔機能評価の早期実施

- ・65歳、70歳の成人歯科健診メニューに口腔機能評価を追加。
- ・高齢に伴う基礎疾患等で複合的に身体機能が低下する前に、早期の健診でお口の健康へ意識を向けることにより、介護予防へ繋げる。

## ○ 産婦健康診査の創設

- ・産後うつや虐待等の予防を図る観点から、産後1か月頃の産婦を対象に、健康診査を実施。
- ・妊婦健診(出産前)と乳幼児健診(出産後3～4か月後)の間の時期を埋めることにより、切れ目のない支援体制を整備。

## 今後の実施スケジュール(予定)

## ○ 口腔機能評価

- ・R3.5月下旬 受診券送付
- ・R3.6月～R4.2月 成人歯科健診時に口腔機能評価を実施

## ○ 産婦健康診査

- ・R3.4.1以降に出産予定の妊婦さんに受診票の交付及び案内

## 予算(案) 主な内訳

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ① 口腔機能評価委託            | 471千円   |
| ② 産婦健康診査(手数料、委託料、負担金) | 2,026千円 |

## 関連事業

- 子宮頸がんワクチン接種に関する個別の情報提供の実施(厚労省通知による)  
対象: 中学1年生～高校1年生の女子 6,158千円

適切な時期・早期の健診による予防



## ◆ 行政サービスのデジタル化(AIチャットボット、電子申請の導入)

## 事業概要

電子申請システムを本格導入し、行政手続きのオンライン化を推進することで、市民の手続きに係る負担を軽減。また、HP等で住民からの問い合わせに自動回答するAIチャットボットを導入し、総合案内サービスに活用することで、利便性を向上。

## これまでの取組・現状

- 紙媒体による申請を窓口へ来庁して提出。
- R2.12月に電子申請サービスを試験導入。
- R2.5月にAIチャットボットによる新型コロナウイルスの案内開始。

## 事業イメージ・スキーム等

- 押印・書面規制・対面規制を見直し、電子申請の拡充に向けて例規を整備。
- 電子申請システムを導入し、各種手続きや住民アンケートに必要な申請フォームを作成し、HPで公開。
- AIチャットボットが利用する回答を整備し、ホームページ上でAIチャットボットを稼働。

## ◆ 電子申請の拡充



## ◆ AIを活用した総合案内



## 今後の目標・成果イメージ

- 電子申請による手続きを拡充し、住民の利便性を向上。
- 住民アンケート等で電子申請システムを利用し、回答の利便性向上及び集計業務を効率化。
- AIチャットボットによる24時間365日の総合案内を開始。

## 〈AIチャットボット イメージ〉



こんにちは、ぼくの名前は「しつぎおとうふ」です。  
「マイナンバー」に関するよくある質問についてお答えします。

マイナンバーカードを発行するにはどういう手続きが必要？



## 今後の実施スケジュール(予定)

- 電子申請 R3.4月 押印・書面規制・対面規制を見直し  
電子申請化の候補手続きの検討  
7月 例規整備、試験運用開始  
11月 運用開始
- AIチャットボット R3.4月 AIチャットボットによる総合案内開始

## 予算(案) 主な内訳

- |                |         |
|----------------|---------|
| ① 電子申請システム利用料  | 2,244千円 |
| ② AIチャットボット利用料 | 792千円   |



# V 行政DX・働き方改革に向けたステップ

## ◆ 業務効率化・省力化(業務プロセス見直しを通じた働き方改革)

### 事業概要

自治体専用ビジネスチャットの導入により、職員間のコミュニケーションを効率化・円滑化することで、庁内での情報共有や合意形成の質と速さを向上し、業務の効率化・勤務時間の削減を推進。

### これまでの取組・現状

- 対面や電話での不要・不急なやりとりが頻発。
- 簡易な要件を伝えるだけのメールに件名や定型文を入力。
- 会話による意思決定の過程が不確実で認識の齟齬が発生。
- 緊急時・テレワーク時の連絡手段が電話のみ。

### 事業イメージ・スキーム等

- ① **連絡体制の確保**  
・自席不在、出張、テレワーク、緊急時にも連絡が可能。
- ② **確実な情報伝達**  
・電話や対面での会話による情報共有と比較し、記録が残るため、相互の食い違いなどが起こりにくい。
- ③ **職員のスムーズな連携**  
・行政課題への対応にプロジェクトチーム等を組織する場合に、職員間の情報伝達・連携が容易。
- ④ **迅速な意思決定**  
・政策形成過程における調整、意思確認の迅速化が可能。
- ⑤ **適正な情報共有**  
・課内、係内業務のスケジュール調整や課題等の情報共有、業務の進捗管理が容易。



メモ、伝達等の  
時間短縮



### 今後の目標・成果イメージ

- コミュニケーション手法の転換  
対面や電話、メールの削減 ⇒ チャットによるコミュニケーション増  
(コミュニケーションコスト:減) (コミュニケーション量:増)
- 緊急時・テレワーク時や出先機関との連絡時の効率的な連携  
⇒ 庁内の「情報共有・意思決定の質と速さが向上」  
⇒ 迅速で確実なコミュニケーションにより「業務負担を軽減」  
⇒ コミュニケーションの効率化により「勤務時間を削減」



働きやすい職場づくり  
行政サービスの利便性向上

### 予算(案) 主な内訳

① 自治体専用ビジネスチャットの導入	2,403千円
② 電子決裁の導入	185千円
③ 新庁舎におけるロケーションフリー印刷の導入	2,112千円
④ マンホールポンプメール通報装置の改修	2,200千円

## ◆ 市公式LINEの機能拡充(文化センター施設予約のオンライン化)

## 事業概要

R2.7月に市公式LINEアカウントを開設し、効果的な情報発信を実施。新たな利用者サービスとして、不二羽島文化センターの施設予約をオンライン化し、LINEに実装(既存のスポーツ施設予約システムも同時実装)。

## これまでの取組・現状

- 市公式LINEの登録者:5,251人(R3.2.10時点)
- 県オンライン申請活用推進部会にて先進事例として紹介

## 施設予約の現状

- 電話・面談による受付のみで運用されており、開館時間以外は予約や空き状況の確認が不可。
- スカイホール・みのぎくホールの仮予約が先着順のため、利用希望者が受付開始日の前日に館外で長時間並ぶことがある。

## 事業イメージ・スキーム等

- 外部システムを活用し、Web上に文化センターの貸館予約機能を構築(24時間オンライン対応の施設予約システムを導入)。
- 市公式LINEと貸館予約機能をリンクし、貸館機能を案内するとともに、スマートフォンで仮予約環境を整備。

## 24時間対応



※ 後日面談等で事業内容等を確認し、予約確定。

## 今後の目標・成果イメージ

## (利便性の向上)

- 24時間オンラインで施設予約状況の照会や仮予約をすることができる。

## (施設利用の促進・収益改善)

- R3.4月の文化センター再オープンを機に、貸館の更なる利用促進を図る。LINEに予約機能を実装することで、これまで施設を利用していなかった市民等にも貸館サービスを周知。

## (DXの推進)

- LINEの登録者を増やし、メニューからのリンクで、電子申請等DX関連のコンテンツへの誘導性を向上。

## 今後の実施スケジュール(予定)

- R3.4月～ システム構築契約、詳細機能を業者協議。  
文化センターとシステム運用について協議・調整。
- 11月～ システム構築、LINEメニュー(文化施設・スポーツ施設予約)を設定し、運用開始。

## 予算(案) 主な内訳

- |                  |       |
|------------------|-------|
| ○ 予約システム構築費、使用料等 | 482千円 |
| ○ その他、卓上啓発物品     | 98千円  |